

主治医 様

大阪府立藤井寺工科高等学校長

学校感染症用意見書の発行について（お願い）

日ごろより学校保健に関しご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、学校においては学校保健安全法により、学校感染症に罹患した場合、出席停止の措置をとることができます。つきましては、お手数ですが下記意見書に必要事項を御記入の上、本校生徒にお渡し下さいますようお願いいたします。

意 見 書

大阪府立藤井寺工科高等学校

年 組 番 名 前

[] は出席停止基準

第1種（病名： _____） [治療するまで]	
第2種 <input type="checkbox"/> インフルエンザ（A型・B型） [発症後5日経過し、かつ解熱後2日経過] <input type="checkbox"/> 新型コロナウイルス感染症 [発症後5日経過し、かつ症状が軽快した後1日経過] <input type="checkbox"/> 麻疹 [解熱後3日経過] <input type="checkbox"/> 百日咳 [特有の咳消失] <input type="checkbox"/> 風疹 [発疹が消失] <input type="checkbox"/> 流行性耳下腺炎 [耳下腺、顎下腺、舌下腺の腫脹消失] <input type="checkbox"/> 咽頭結膜熱 [主要症状消退後2日経過] <input type="checkbox"/> 水痘 [全ての発疹痂皮化] <input type="checkbox"/> 結核 [感染のおそれなし] <input type="checkbox"/> 髄膜炎菌性髄膜炎 [感染のおそれなし]	
第3種 [感染のおそれがないと認められるまで] <input type="checkbox"/> 腸管出血性大腸菌感染症 <input type="checkbox"/> コレラ <input type="checkbox"/> 細菌性赤痢 <input type="checkbox"/> 流行性角結膜炎 <input type="checkbox"/> 腸チフス <input type="checkbox"/> 急性出血性結膜炎 <input type="checkbox"/> パラチフス その他の感染症 [第3種の感染症として扱う場合もある] <input type="checkbox"/> (_____)	
出席停止期間	令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日
その他御意見欄	

上記の疾患に罹患したため療養を指示していましたが、感染のおそれがなくなったので、登校が可能であると判断しました。

令和 年 月 日

医療機関名

医師名

印

保護者 様

インフルエンザと診断された場合は、学校保健安全法により出席停止となります。出席停止の期間は、「発症した後5日を経過し、かつ解熱した後2日を経過するまで」です。

新型コロナウイルスと診断された場合は、学校保健安全法により出席停止となります。出席停止の期間は、「発症した後5日を経過し、かつ症状が軽快した後1日を経過するまで」です。

医師に自宅療養期間を確認していただき、下記の報告書に保護者様が記入・押印のうえ、証明できる書類を添付し、登校を再開する際に担任に提出してください。

インフルエンザ・新型コロナウイルス感染症 報告書

大阪府立藤井寺工科高等学校長 様

年 組 番 名前

医療機関名	
医療機関電話番号	
医療機関受診日	令和 年 月 日
診断名	インフルエンザ A型 B型 不明 新型コロナウイルス感染症
自宅療養期間	令和 年 月 日 () ~ 令和 年 月 日 ()
備考 (医師の指示事項)	
添付書類	* インフルエンザもしくは新型コロナウイルス感染症にかかったことがわかる書類 (写し)。 お薬説明書 } 左記のいずれか一つを添付 (添付書類に○を)。 お薬手帳 } ①生徒名 ②受診日 ③処方薬または検査結果 検査結果等 } ④医療機関名が記載されているもの

令和 年 月 日

保護者名

印

インフルエンザ・新型コロナウイルス感染症等の学校感染症について

下記の感染症にかかった場合は、学校保健安全法（第19条）により、出席停止の措置をとることができます。医師から下記の感染症と診断された場合は、速やかに学校に連絡し、必要な期間休養してください。

★医師から登校を許可され、登校再開する際には、「学校感染症用意見書」「インフルエンザ報告書」を学校に提出してください。（本校ホームページよりダウンロード可能）

*インフルエンザの場合…①「**感染症報告書**」保護者が記入（*添付書類必要）
 コロナウィルス ②「**学校感染症用意見書**」 医師が記入

どちらかを提出

*インフルエンザ・コロナ以外の感染症…「**学校感染症用意見書**」 医師が記入したものを提出

医師記入の意見書については、文書料が発生する場合があります。ご了承ください。

《学校感染症の種類と出席停止期間》

学校感染症の種類と出席停止期間の基準について
 令和6年10月改訂版

感染症の種類	出席停止の期間の基準	提出書類
第1類 エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、ペスト、マールブルフ病、ラッサ熱、急性灰白髄炎、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群(病原体がコロナウイルス属 SARS コロナウイルスであるものに限る)、鳥インフルエンザ(病原体がインフルエンザウイルス A 属性インフルエンザ A ウイルスであってその血清型が H5 N ーであるものに限る)	治癒するまで	
第2類 インフルエンザ (鳥インフルエンザ(N5N1)を除く) 新型コロナウイルス感染症 百日咳 麻疹(はしか) 流行性耳下腺炎(おたふくかぜ) 風疹(3日はしか) 水痘(水ぼうそう) 咽頭結膜熱(プール熱) 結核 髄膜炎菌性髄膜炎	発症した後5日を経過し、かつ解熱後2日を経過するまで	*【インフルエンザ報告書】と【添付書類】または【学校感染症用意見書】
	発症した後5日を経過し、かつ、症状が軽快した後1日を経過するまで	
	特有の咳が消失するまで 又は5日間の適正な抗生物質製剤による治療が終了するまで	【学校感染症用意見書】 (医師が記入)
	解熱した後3日を経過するまで	
	耳下腺、顎下腺又は舌下腺の腫脹が発現した後5日を経過、かつ全身状態が良好になるまで	
	発疹が消失するまで	
	全ての発疹が痂皮化するまで	
	主要症状が消退した後2日を経過するまで	
	学校医その他の医師において感染のおそれがないと認められるまで	
第3類 コレラ、細菌性赤痢、腸管出血性大腸菌感染症、腸チフス、パラチフス、流行性角結膜炎、急性出血性結膜炎 その他感染症※	必要があれば、学校長が学校医の意見を聞き、第3類の感染症として措置をとることができる。 あらかじめ特定の疾患をさだめるものではない。	出席停止の措置がとれる場合のみ【学校感染症用意見書】

*その他感染症

…溶連菌感染症、伝染性紅斑、手足口病、ヘルパンギーナ、マイコプラズマ感染症など学校教育活動において流行を広げる可能性があり、医師において感染の恐れがあると認められたもの。

関係法令：学校保健安全法施行規則第18条、19条及び学校保健安全法施行規則の一部を改正する省令参考文献：「学校において予防すべき感染症の解説(令和5年度改訂)」日本学校保健会

*インフルエンザ・コロナウィルスについては、保護者記入の報告書と添付書類の提出があれば、医師の意見書を提出する必要はありません。添付書類は、お薬説明書・お薬手帳の写し等、インフルエンザ・コロナウィルスにかかったことがわかる書類です。